



山北だより

〒959-3907 村上市府屋 655-3
TEL 77-2049 / FAX 77-2152
令和8年4月25日発行 第1号

教育目標 信念とともに 山の如く 優しさとともに 海の如く 勇気をもって たくましく生きる
重点目標 求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす 生徒の育成

令和8年度 第31回入学式

誓いの言葉 新入生代表 加藤 彰悟

暖かな春の訪れとともに、大きな希望を胸に抱いて、私たち十二名は、山北中学校の入学式を迎えることができました。本日はこのような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。

今日から、この山北中学校の生徒という自覚をもち、勉強や学校行事などに積極的に取り組み、充実した中学校生活を送りたいです。そのために、がんばりたいことが二つあります。

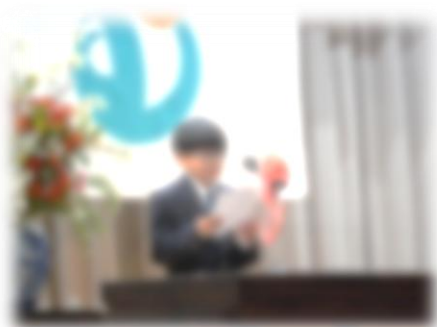
一つ目は勉強です。英語は、話すだけでなく、読む・書く活動が本格的に始まるなど、勉強が難しくなります。私は英単語を読んだり、聞き取ったりすることを頑張りたいと思っています。そのために、分からないことがあったら、その日のうちに復習したり、進んで先生に聞きに行ったりして、次の日には分かるようにしたいです。

二つ目は学校行事です。小学校では先生に教えてもらいながら活動をする場面が多くありました。例えば、運動会の応援や競技がそうです。しかし、中学校では体育祭になり、自分たちで考えて練習を進めていく必要があると思います。先輩方に、どのように進めればよいのかを聞きながら、山北中学校の学校行事と一緒に盛り上げていきたいです。

中学校生活では、苦しいこと、困難なことがあるかと思っています。そんな時には、先生方や先輩方に相談したり、友だちと支え合ったりしながら、前を向き、強い気持ちをもって乗り越えていきたいです。また、私たちが安心して中学校生活を送ることができるのも、

多くの方々の支えのおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、過ごしていきたいと思っています。

最後になりますが、お忙しい中、私たちの入学式にお越しくくださった来賓の皆様、本当にありがとうございました。校長先生をはじめ、先生方、先輩方、地域の皆様、これから三年間よろしくお願ひします。山北中学校の一員として、皆様の期待に応えるため、何事にも真剣に取り組みます。中学生になった今日の気持ちを忘れず、充実した中学校生活を送れるよう、精一杯努力することをここに誓います。



歓迎の言葉 生徒会長 富樫 龍音

暖かな春の日差しに誘われて、桜の花が咲こうとしています。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんは、たくさんの思い出がある小学校を卒業し、中学生となった今、ワクワクする気持ちと同時に、不安な気持ちも抱えていることでしょう。けれども、安心してください。実は私も入学したばかりの頃は、皆さんと同じように不安でいっぱいでした。しかし、今では毎日がとても充実し、楽しく過ごせています。皆さんも、仲間や先生方と過ごしていくうちに、その不安は少しずつ「楽しみ」へと変わっていくはずですよ。とはいえ、これから始まる中学校生活について、わからないことが多いと心配だと思います。そこで、皆さんが少しでも見通しをもてるよう、中学校生活の大きな特徴を三つ紹介します。

一つ目は勉強です。中学校では学習内容がより深くなり、教科ごとに教えてくださる先生が変わります。また、授業時間も小学校より長くなります。授業の内容についていけるか心配かもしれませんが、安心してください。もしわからないことがあっても、遠慮なく先生方に質問したり、周りの友だちと教えあったりしましょう。また、学んだことを忘れないために、毎日の予習や復習を大切にしてください。日々の積み重ねが、皆さんの自信につながるはずです。

二つ目はクラブ活動です。中学校では、多くの人が新しい活動に挑戦します。地域のバスケや野球、空手クラブ、あるいは学校の吹奏楽クラブなどが、大会やコンクールといった目標に向かって、仲間同士で切磋琢磨しています。時には、練習が厳しかったり、思うような結果が出ずに悔しい思いをしたりすることもあるかもしれませんが、しかし、そのような時こそ、仲間と声を掛け合いながら乗り越えていきましょう。力を合わせて目標を達成した瞬間の喜びや、昨日までできなかったことができるようになった手応えは、クラブ活動でしか味わえない特別なものです。ぜひ皆さんも、自分に合ったクラブを見つけ、喜びを分かち合いきましょう。

三つ目は行事です。体育祭や文化祭では、私たち生徒が主役となって準備を進めます。体育祭では、クラスの絆を深める競技はもちろん、応援団や様々な係の仕事など、一人一人が役割をもって活躍する場があります。また、文化祭での合唱などは、生徒が中心となって練習を重ね、一つの目標に向かって心を一つにしていきます。他にも、一年を通してたくさんの行事があります。自分たちで考え、協力して作り上げる行事の感動は、中学校生活の大きな宝物になるはずです。

最後に、山北中学校が誇る伝統である「あいさつ」と「合唱」についてお話しします。

一つ目の「あいさつ」は、心をつなぐ大切なコミュニケーションであり、相手を敬う礼儀でもあります。毎日、元気なあいさつを交わし合い、笑顔あふれる学校にしていきたいと思います。

二つ目の「合唱」は、生徒が一致団結して練習に励むことで、一つの「最高の歌声」を作り上げます。皆さんも今日から山北中学校の一員です。私たちと一緒に声を響かせ、この合唱の伝統をさらに素晴らしいものにしていきましょう。

最後に、中学校生活の三年間は、長いようでいて、あっという間に過ぎていきます。三年後に「この学校で良かった」と胸を張れるよう、勉強に、部活動に、行事に、たくさんの挑戦をしていきましょう。もし、悩み事や不安があれば、いつでも私たち先輩に相談してください。皆さんの力になりたいと思っている先輩が、ここにはたくさんいます。必ず親身になって相談に乗ることを約束します。山北中学校の新しい仲間として、これからたくさんの思い出を共に作っていきましょう。



式辞 (一部抜粋)

新入生の皆さんの入学に際し、コロナ禍から始まった、新しい時代の流れと、これからの学校での学びのあり方について、お話ししたいと思います。

この6年間で、世の中ではICT技術が飛躍的に進化しました。学校ではタブレット端末を活用した授業が当たり前となり、日常生活でもデジタル化が加速し、さらには生成AIが出現しました。

かつては2045年頃と言われていた「シンギュラリティ」(日本語訳は「技術的特異点」)、すなわち、人工知能が人間の知能を超える日が、今やもっと早く訪れるのではないかとされています。

スマートフォンやタブレット端末を開けば膨大な知識に簡単にアクセスができ、生成AIに質問すれば何でも答えてくれる時代。人類は、自らを超える知能を、道具として作り上げ、もはや、昔の生活には容易に戻れないところまで来てしまいました。

しかしながら、人工知能は「自ら学び続ける」ことができたとしても、「自ら生きる」という目的は持ち合わせていません。どれほど進化しようとも、AIはあくまで道具であり、「生きる」という目的を持って、それを手段として使いこなすのは、やはり他ならぬ人間自身になるのです。

また、学校に通う必要はなく、オンライン授業で全ての学習が完結するのではないか、そんな論調も現れました。しかし、画面越しに得られるのは、視覚(見ること)と聴覚(聞くこと)に限定された情報に過ぎません。本来の学びは、身体を通した実体験を伴うものであり、画像と音声だけでは決して代えられないものがあるのです。

人間は、同じ空間に居合わせることで、共感し合うことができるようになります。つまり、同じものを見て、同じ音を聞いて、同じ物を食べて味わい、匂いを感じ、同じ空気に触れることで共感することができるのです。そのように、五感の全てを研ぎ澄ませ、同じ瞬間を、仲間とともに全身で共有することこそが、人間の活動には何より必要となってきます。

学校は、教科の授業だけを学ぶ場所ではありません。学校行事や様々な活動、そして日々の何気ない会話があります。その中に、仲間と共に流す汗や涙、そして、感動があり、多くの学びが溢れているのです。

人と比べ、競い合うために数値化された能力を、人はともすれば、唯一の「知性」ととらえがちです。しかし、他者と繋がり、助け合い、支え合うことで、新しい価値を共に作り上げていく能力こそが、これからの時代を生きる上で必要となってきます。そんな力を、この山北中学校で身に付けてくれることを、心から期待しています。



令和8年度 職員名簿

No.	氏名	職名、主な分掌等	No.	氏名	職名、主な分掌等
1	大塚 賢一	校長	13	会田 麻美子	事務主事
2	夏井 徳治	教頭 社会	14	齋藤 勉	技能員
3	荒木 秀治	支援A担任 社会 教務主任	15	齋藤 千代文	市非常勤講師 学者支援
4	須貝 将士	1学年主任 理科 研究主任	16	富樫 ますみ	介助員
5	小谷 美穂	1学年担任 英語	17	田村 由佳	スクールサポートスタッフ
6	渡邊 陽太	2学年主任 数学 生徒指導主事	18	桐生 里美	家庭(兼務) 木曜勤務
7	当摩 天喜	2学年担任 保健体育	19	村上 清人	技術(兼務) 木曜勤務
8	田中 恵	支援B担任 音楽	20	塚野 颯	美術(兼務) 火曜勤務
9	渡邊 尊仁	3学年主任 国語 進路指導主事	21	佐藤 あずさ	養護教諭(育休中)
10	松本 優作	3学年担任 英語	22	佐藤 純之	スクールカウンセラー
11	久保田 涼香	栄養教諭	23	Snively Evan Douglas	A L T
12	東 みづほ	養護助教諭			

転入職員挨拶

<p>校長 大塚 賢一 (長岡市立東中学校より) 子どもの頃から思い入れのある山北の地に、願ってもない赴任が叶いました。新任式、入学式で見せてくれた「歌のある学校 山北中」子どもたちこそが山北中の誇りです。これからの時代に必要となる力を、子どもたちとともに追究してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>教諭 渡邊 陽太 (長岡市立宮内中学校より) 2学年主任、生徒指導主事を担当します。山北中学校は海や山などに囲まれ、自然豊かな学校だと感じています。数学の授業では、答えに至るまでの過程を大切にし、なぜそのようになるのかを説明できる力を育てていきます。よろしくお願いいたします。</p>	<p>教諭 小谷 美穂 (新採用) この度、ご縁があり山北中学校に着任いたしました。生徒一人一人に寄り添いながら、それぞれのよさを伸ばし、苦手なことにも前向きに取り組めるよう全力でサポートしてまいります。様々な活動を通して、ともに成長していけることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。</p>
<p>栄養教諭 久保田 涼香 (十日町市立西小学校より) 海や山に囲まれた自然豊かな山北中学校に勤務できることを大変嬉しく思っています。また、おいしい地場産物を活用して献立作成ができることを楽しみにしてまいりました。安全・安心でおいしい給食を作り、食の面から生徒の心身の健康を支えることに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>事務主事 会田 麻美子 (佐渡市立真野小学校より) この度の異動で山北中学校に勤務させていただくことになりました。豊かな自然に囲まれた環境で勤務できることを大変嬉しく思います。生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるよう精一杯努めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

【お願い】

本校の教育活動の様子を、地域・保護者の皆様にお伝えするために、生徒の活動風景や氏名等を学校だよりやホームページに掲載することがございます。これに伴い、個人情報流出防止やプライバシー保護の観点から、意図的な編集（個人が特定されないよう）を行わせていただくことがございますので、予め御理解くださいますようお願いいたします。（特に、不特定多数の閲覧が可能となるホームページにおいては十分に注意いたします。）併せて、教職員につきましても、同様の対応をとらせていただきますこと、御理解いただきますようお願いいたします。（掲載した職員集合写真は、勤務日、勤務時間等の関係で全職員ではございません。御了承くださいますようお願いいたします。）